第１号様式（第５条関係）

葛飾区ＳＤＧｓ宣言書

宣言日　2026 年　10 月　30 日

事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿
解体は建物をなくす仕事ではなく、資源を取り戻しまちを更新する仕事です。2030年に向け、解体・内装工事の廃棄物の分別を徹底して混合廃棄物を削減し、老朽建物や空き家の除却と内装改修で葛飾区の住み続けられるまちづくりに貢献します。あわせて労働災害ゼロを守り、技能を次世代へ引き継ぎます。
事業者等としてのねらい、特徴的な活動
解体・内装工事は、廃棄物の扱いや現場の安全、近隣への配慮が、そのまま地域の暮らしに影響する仕事です。自社の姿勢を目に見える形で示すことで、施主や協力会社からの信頼を高めるとともに、社内で目標を共有し、少人数だからこそ全員が同じ方向を向いて取り組む体制をつくるため、SDGs宣言を行います。
目指すＳＤＧｓのゴール（複数選択可）



目標に関連する取組内容等		
ゴール	これまでの取組内容	2027 年12月31日までの取組目標
8	危険を伴う現場作業において、朝礼での作業手順確認や熱中症対策など、日常的な安全衛生管理に取り組んできました。	労働災害ゼロを継続します。年2回以上の安全衛生教育を全従業員が受講し、従業員の資格取得を支援して技能の向上と次世代への継承を進めます。
11	工事にあたり、着工前に近隣へ説明を行い、粉じん・騒音・振動への対策や工事車両の通行に配慮した施工を行ってきました。	着工前の近隣説明を全現場で実施し、実施状況を記録します。解体や内装改修を通じて、安全で住み続けられる住環境づくりに貢献します。
12	解体現場で木くず・金属・石膏ボード・廃プラスチック等を分別し、混合廃棄物として排出する量を抑えてきました。	全現場で分別区分を明確にした排出ルールを定め、写真等で記録を残します。混合廃棄物の排出量を前年より削減することを目標とします。
12	解体時に再利用できる建具・住宅設備・金属類を選別し、廃棄せずに再資源化ルートへ回す取組を行ってきました。	再利用・再資源化できる資材の選別基準を社内で共有し、年間を通じて選別を継続します。あわせて、選別した資材の種類と行き先を記録・確認します。

1	事業者等の名称	NEXTcom株式会社				
2	業種	２．建設業				
3	従業員（構成員）数	4				
4	代表者　職・氏名	職	代表取締役		氏名	小川　忠司
5	所在地	〒	125-0061	住所	東京都葛飾区亀有2-59-10コーポシミズ1F	
6	ホームページＵＲＬ	https://nextcom-lp.jp/				